

---

# BUSINESS REPORT

第166期 報告書

(2025年4月1日～2026年3月31日)



## トップメッセージ

株主の皆さまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度当社は2026年3月31日をもって、第166期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)を終了いたしました。ここに、当社グループの現況などにつきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月

取締役社長 三瓶 悦男



### ◆営業の概況について

当連結会計年度の世界経済は、中国内需の低迷長期化の影響もありましたが、米国の底堅い経済成長や欧州での内需の回復が支えとなり、概ね堅調に推移しました。国内経済は、物価高の影響がみられたものの、設備投資や個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復が続きました。また、中東情勢の緊迫化を受けた原油価格の高騰による影響が懸念されます。

この間、当社グループの関連する紙・板紙の国内出荷は前年を下回りました。特に新聞用紙や印刷用紙に代表されるグラフィック用紙の需要は、デジタル化の進行や少子化による人口減少などの影響により、減少傾向が続いております。また、紙器用板紙や包装用紙、段ボール原紙等、パッケージング用途においてはインバウンド需要による押し上げ効果があったものの、簡易包装・軽量化の影響から前年を下回りました。このような状況下、国内製紙各社は、グラフィック用紙の需要減少に対して、生産体制の再編成等による国内事業の構造転換推進と海外市場への展開や新素材・新分野事業の推進、また、エネルギー転換による環境負荷低減等、企業価値向上への取り組みを加速しています。

当社グループにおきましては、印刷用紙・特殊紙・情

報用紙・パッケージング用紙・化成品の5分野の連携を強化するとともに、社会環境の変化と構造的な需要減少に対応すべく、事業の持続的な拡大を目指して、生産性の向上と新たな事業の創出に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高259,281百万円(前期比0.8%増)、営業利益4,916百万円(同4.6%増)、経常利益5,838百万円(同11.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,172百万円(同15.9%増)となりました。

### ◆今後の取り組みについて

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、印刷用紙を中心としたグラフィック用紙部門は、少子高齢化や電子媒体へのシフト等の構造的な要因により、需要の減少が続くと予想されます。また、包装用紙・板紙・化成品等のパッケージング部門は、物価高による節約志向の継続や包装材の薄物化・軽量化の進展により、需要の伸びは限定的となる見込みです。一方で、中東情勢の不透明感を背景に、各種資材における供給不安及び価格上昇の影響が顕在化しております。

このような環境下、2025年度から2027年度を対象期間

経営理念

# SPPは革新と挑戦の情熱を持って 時代の変化に対応し社会とともに成長します。

経営方針

- 1 環境に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会づくりへの責任を果たし続けます。
- 2 「支持され」「必要とされ」「選ばれる」会社として成長し続けます。
- 3 「紙」から広がる木質系天然素材の無限の可能性を追求し続けます。
- 4 一人ひとりが志を高く持ち、プロ集団として力を発揮し続けます。

とする第7次中期3ヶ年計画「Create New Value」では、「一紙・板紙・フィルムから拓がる可能性の探求と新たな価値の創造」をテーマに掲げ、加速する市場環境変化への対応を図っております。当社グループの中核である「紙・板紙・化成品等卸売関連事業」では、商社機能強化による付加価値提供を推進し、経営資源を最大限活用した各事業の活性化に取り組んでおります。

## ①市場環境の変化への対応

### 国内事業

紙・板紙の内需は減少傾向が継続し、物価上昇による節約志向や企業コスト削減が定着しております。この環境下で、a)紙の環境優位性・効用を訴求した需要喚起、b)加工性・バリエーション等の機能特性を活かした顧客ニーズ対応商品の提供、c)グループ物流機能を活用した効率化提案、d)取引先との共創による商品開発・販売を推進し、収益基盤の強化を図ります。

### 海外事業

成長が見込まれるパッケージング分野において、商品開発・提案を加速するとともに、販売エリア拡大に注力し、海外向け売上比率の向上を目指します。

## ②物流対策

改正物流効率化法施行に伴い、積載率向上等の輸送効率化を一層推進いたします。また、グループ全体の物

流機能を統合活用し、配送コスト低減に取り組むことで、持続可能な物流体制と安定供給の両立を実現いたします。

## ③営業力強化とグループ経営資源の最適配分

グループ各社間での商材・サービス、設備・技術、市場情報の共有を強化し、関連事業部門と一体となった営業活動を展開いたします。効率的・効果的な事業投資、設備更新、人材配置により、グループ全体の営業力強化と経営資源の最適配分を推進します。

中期経営計画の着実な実行を通じて、環境配慮型経営を推進し、SPPグループの横断的取り組みによる新たな価値の創出により、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

## ●株主の皆さまへ

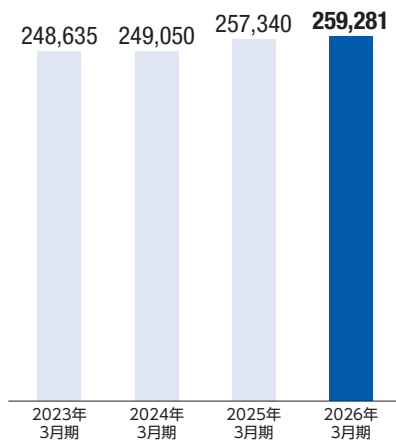
剰余金の配当につきましては、企業価値の最大化を念頭に、健全な財務体質の維持及び積極的な事業展開に備えるための内部留保を勘案しつつ、単年度の業績に左右されない安定した配当を継続する方針であります。

なお、当事業年度の配当につきましては、合併20年の記念の年にあたり2円増配し、1株当たり12.5円(うち中間配当6円)の配当を実施することに決定しました。

# 連結財務ハイライト

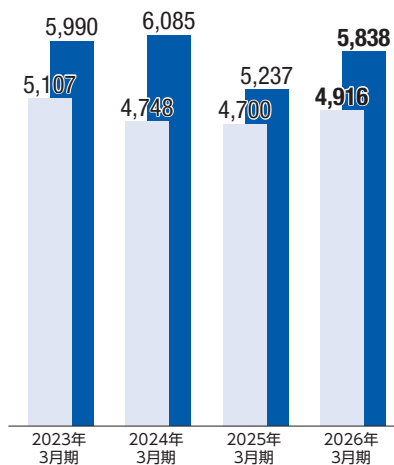
## 売上高

(単位：百万円)



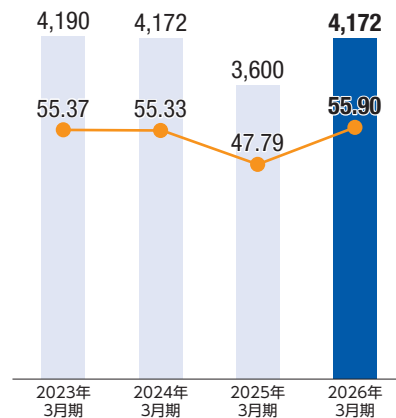
## 営業利益・経常利益

■ 営業利益 ■ 経常利益 (単位：百万円)



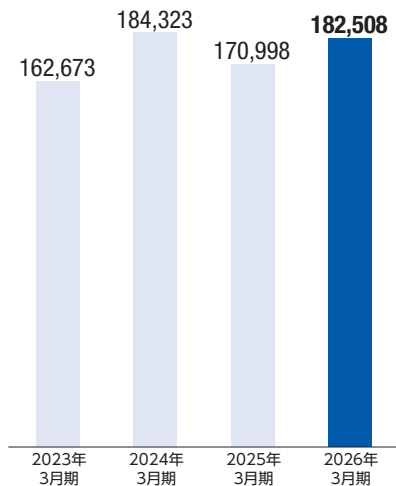
## 親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益

◆ 1株当たり当期純利益 (単位：百万円・円)



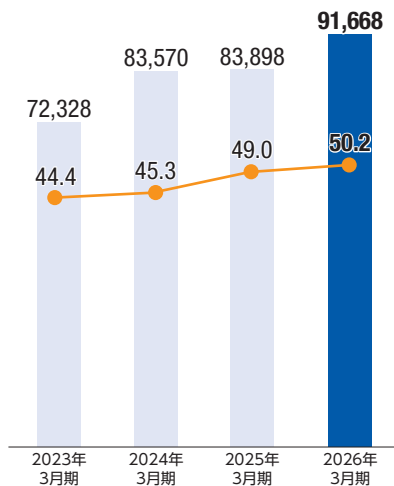
## 総資産

(単位：百万円)



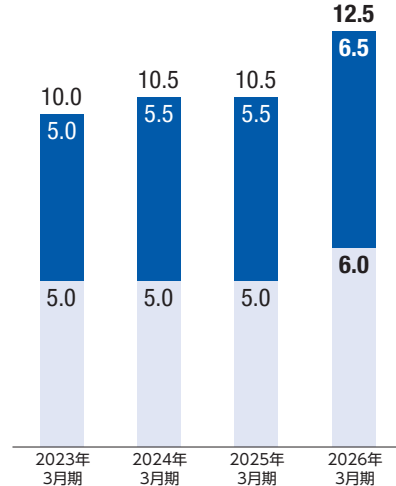
## 純資産・自己資本比率

◆ 自己資本比率 (単位：百万円・%)



## 1株当たり配当金

■ 中間 ■ 期末 (単位：円)



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		2026年3月31日現在	2025年3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産		112,565	109,510
現金及び預金		4,754	6,012
受取手形及び売掛金		89,261	88,148
その他		18,548	15,349
固定資産		69,943	61,487
有形固定資産		22,197	21,784
無形固定資産		693	719
投資その他の資産		47,051	38,983
資産合計		182,508	170,998
<b>負債及び純資産の部</b>			
流動負債		78,883	77,381
支払手形及び買掛金		70,088	73,165
短期借入金		5,270	1,040
その他		3,524	3,175
固定負債		11,956	9,718
負債合計		90,839	87,099
株主資本		73,006	70,069
資本金		3,228	3,228
資本剰余金		1,876	1,876
利益剰余金		70,083	66,771
自己株式		△2,180	△1,806
その他の包括利益累計額		18,557	13,757
非支配株主持分		104	72
純資産合計		91,668	83,898
負債及び純資産合計		182,508	170,998

(百万円未満を切り捨てて表示しております。)

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		自 2025年4月 1日 至 2026年3月31日	自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日
売上高		259,281	257,340
売上原価		242,370	241,519
売上総利益		16,910	15,820
販売費及び一般管理費		11,994	11,119
営業利益		4,916	4,700
営業外収益		1,543	1,079
営業外費用		620	542
経常利益		5,838	5,237
特別利益		472	5
特別損失		543	26
税金等調整前当期純利益		5,767	5,216
法人税、住民税及び事業税		1,653	1,498
法人税等調整額		△76	108
当期純利益		4,191	3,610
非支配株主に帰属する当期純利益		18	9
親会社株主に帰属する当期純利益		4,172	3,600

(百万円未満を切り捨てて表示しております。)

## SEGMENT INFORMATION

# セグメント別の概況

当社グループは、当社及び連結子会社13社で構成され、次の3事業を  
主な内容として、事業活動をしております。

各事業の概要及び当期の業績は次のとおりであります。

### 紙・板紙・化成品等卸売関連事業

売上高 **250,519**百万円

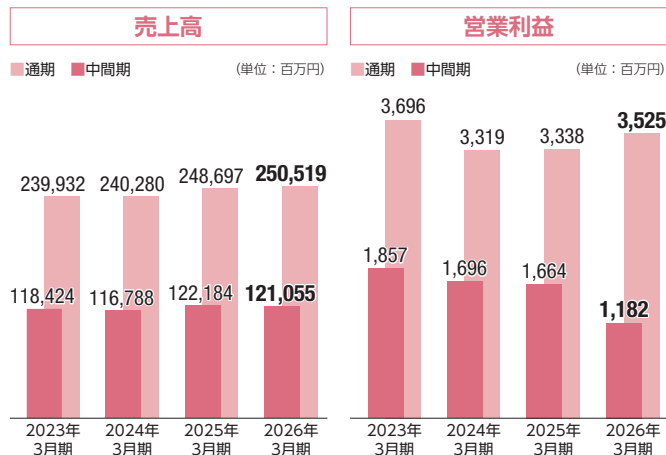
営業利益 **3,525**百万円

紙・板紙・化成品等卸売関連事業は、国内向けにおきまして、グラフィック用紙は構造的な要因による需要減少が継続しており、販売数量・売上高ともに減少しました。パッケージング用紙は、包装用紙ではデジタル・データ管理の進行による郵送量減少に伴う封筒需要の低下、白板紙・段ボール原紙では医薬品関連の堅調な推移と個人消費の回復傾向があったものの、簡易包装・軽量化の影響を埋めきれず、販売数量・売上高ともに減少しました。また化成品は、新規開拓等により販売が増加し、売上高は前年を上回りました。

海外向けは、グラフィック用紙の販売数量が減少した一方、パッケージング用紙の販売増による押し上げもあり、販売数量・売上高とも前年を上回りました。

利益面においては、人件費・物流費の上昇による影響があったものの、化成品・海外向け売上高の増加もあり、前年を上回りました。

この結果、紙・板紙・化成品等卸売関連事業の売上高は250,519百万円、営業利益は3,525百万円となりました。



## 紙加工等関連事業

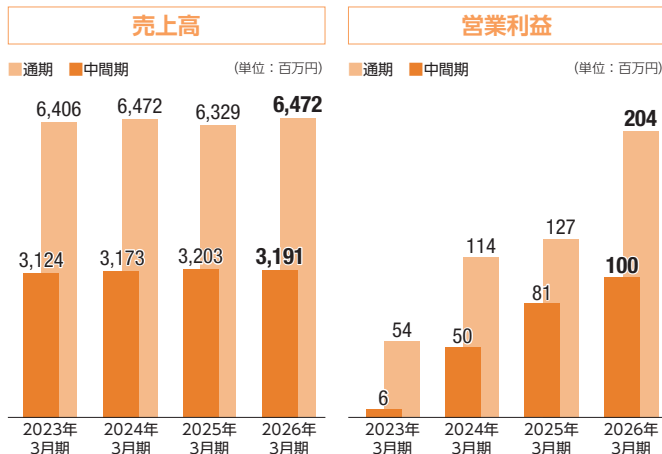
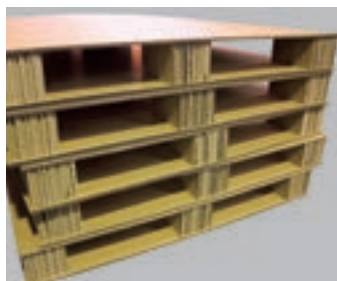
売上高 **6,472**百万円

営業利益 **204**百万円

紙加工等関連事業におきましては、紙梱包資材の価格改定による単価上昇及び販売数量増加により、売上高は増加しました。

人件費・物流費の上昇や物価高騰による経費増加が収益を圧迫したものの、段ボール製造子会社の価格修正により採算性の改善が進み、営業利益も増加しました。

この結果、紙加工等関連事業の売上高は6,472百万円、営業利益は204百万円となりました。



## 不動産賃貸関連事業

売上高 **2,262**百万円

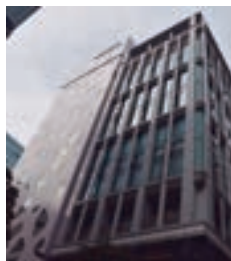
営業利益 **1,175**百万円

不動産賃貸関連事業におきましては、東京本社移転に伴うテナント退去により、売上高は減少しました。

また、テナント維持のための修繕費等経費が増加し、営業利益も減少しました。

この結果、不動産賃貸関連事業の売上高は2,262百万円、営業利益は1,175百万円となりました。

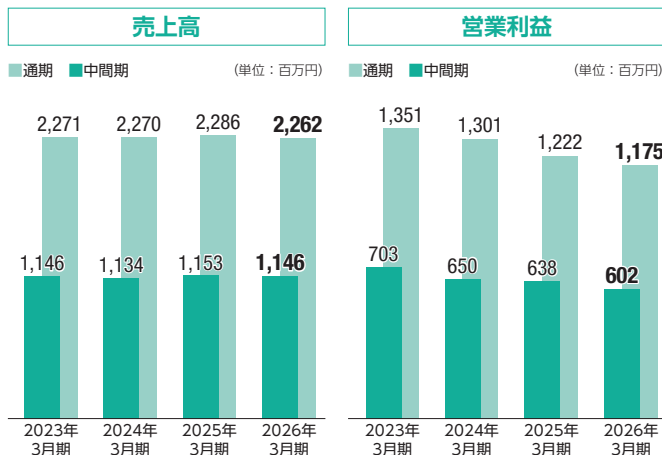
主な所有不動産



SPP銀座ビル  
東京都  
中央区銀座



森ノ宮中央レジデンス  
大阪府  
大阪市



# 関係会社のご案内

## 協同紙商事株式会社

本 社 〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-21 OKビル7階  
TEL：03-3518-6601 FAX：03-3233-7377

埼玉事業所 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目8-12-21  
TEL：048-421-9621 FAX：048-422-1207

協同紙商事は創業以来、紙及び紙加工製品にかかわる流通の一翼を担い、取引先様のお役に立つ活動を心掛け、「紙」を通じて社会に貢献し、取引先様と共に発展する企業を目指し、日々邁進しております。

### <パッケージ素材>

私たちの生活に必要な、白板紙・チップボール・色板紙・段ボール原紙などパッケージ素材について永年培った販売実績があります。

また、パッケージ製品も取り扱うことができます。

### <専売品>

国内で唯一の地図専用紙「OKサンバード地図用紙」を取り扱っております。地図専用紙として、罫割れや紙裂けに強い耐折性と紙の伸び縮みの少ない耐伸縮性、また強い紙力を兼ね備えています。そのため長い間、行政機関・地方自治体で使用されています。

### <取得資格>

FSC®-CoC森林認証(ライセンス番号FSC-C134700)

企業活動の中で環境に配慮した商品に対するニーズは年々増えてきており、環境に配慮した商品を調達したいというお客様の要望にお応えしてまいります。

2026年6月～ホームページをリニューアルしました。

これを機に多くの方に、当社を知っていただけたら幸いです。

<https://www.kyodo-kami.jp/>



パッケージ製品



紙の取扱商品



混抄紙製品



OKサンバード地図用紙

# 株式会社興栄

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 884 番地

TEL : 045-542-7771 FAX : 045-542-7775

<http://www.koeiyokohama.co.jp>

株式会社興栄は段ボールシート・ケースを一貫して製造販売をしています。設立は昭和42年4月、工場の1階にシート貼合部門、2階にケース製造部門を配備し、一貫メーカーとして短納期・即配送の体制を実現しています。

また、FSC認証を取得しており、森林保全の支援活動や地球環境保全への貢献にも積極的に取り組んでいます。

(主な取扱商品)

段ボールシート、段ボールケース、その他包装材料

本社工場・事務所



コルゲートマシン (段ボールシート貼合設備)



フレキシ印刷機 EQOS (段ボールケース製函設備)



商品紹介



製函設備更新

2024年11月フレキシ印刷機 (EQOS) 更新。

お客様のニーズに対応するため製函設備を更新。印刷再現性及び生産性向上により高品質な製品を短納期で対応することを可能にいたしました。

今年度はコルゲートマシン (段ボールシート貼合設備) の更新も予定しており、更なる品質向上、安定供給を目指してまいります。

# 環境課題への貢献

## 「第5回サステナブルマテリアル展(SUSMA)」に出展 — 新素材・ソリューションを通じた新たな価値創出 —

当社は、2025年11月12日（水）から14日（金）に幕張メッセで開催された高機能素材Week「第5回サステナブルマテリアル展(SUSMA)」に出展、「紙とフィルムでミライを創る」をテーマに、脱プラスチックや資源循環社会の実現に向けた取り組みを発信しました。

展示ブースでは、ゼロプラスチック素材「kamimol®（カミモル）」、株式会社タイガーによるマテリアルリサイクル事業、混抄紙（卵殻・回収コットン等）、高機能紙容器「テラトレイ」、さらに森林育成事業・生物多様性保全活動を支援する「1% for PT」等、環境配慮型製品・ソリューションの展示を行い、1,100名を超える方にご来場いただきました。

SUSMA出展商材は、当社ホームページをご参照ください。



[SUSMA出展商材]

本年も9月30日（水）から10月2日（金）まで同展示会（於：幕張メッセ）に出展する予定です。

当社は今後も環境負荷低減に資する製品・ソリューションの企画開発・提案により、事業活動の成長と持続可能な社会実現の両立を目指してまいります。



## 会社情報

商号	新生紙パルプ商事株式会社 SHINSEI PULP & PAPER COMPANY LIMITED
本社及び本店	東京都千代田区神田錦町1丁目8番地
創業	明治22年(1889年)11月3日
設立	大正7年(1918年)3月14日
資本金	32億2,800万円
営業品目	紙・パルプ・化成品・紙加工品・建材・機械・機器等
従業員	550名

## 役員

(2026年6月19日現在)

代表取締役社長	三瓶悦男	取締役	上田淳史
取締役専務執行役員	鳥羽登	監査役	井上眞樹夫
取締役常務執行役員	重田栄治	監査役	厨川秀樹
取締役常務執行役員	上羽昌雄	監査役	佐藤誠一
取締役上席執行役員	栗原光晴	監査役	清水貴雄

(注) 取締役 上田淳史氏は社外取締役であります。  
監査役 佐藤誠一、清水貴雄の両氏は社外監査役であります。

## 事務所所在地

本社	〒101-8451
東京本店	東京都千代田区神田錦町1丁目8番地 TEL (03) 3259-5080 (代表) FAX (03) 3233-0991
大阪支店	〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目16番10号 TEL (06) 6262-8800 (代表) FAX (06) 6261-2916
名古屋支店	〒450-0003 名古屋市市中村区名駅南2丁目9番18号 TEL (052) 584-6200 (代表) FAX (052) 584-6306

## 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	80,000,000株
株主数	991名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	8,605	11.6
北越コーポレーション株式会社	8,530	11.5
特種東海製紙株式会社	3,913	5.3
王子ホールディングス株式会社	3,286	4.4
昭和パックス株式会社	2,613	3.5
株式会社サンエー化研	2,613	3.5
新生紙パルプ商事従業員持株会	2,335	3.1
北越パッケージ株式会社	2,040	2.7
中越パルプ工業株式会社	1,940	2.6
公益財団法人睦育英会	1,300	1.7

(注) 1.千株未満は切り捨てて表示しております。  
2.持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

九州支店	〒812-0025 福岡市博多区店屋町4番12号 TEL (092) 271-2800 (代表) FAX (092) 271-2810
札幌支店	〒060-0063 札幌市中央区南三条西10丁目1001番地5 TEL (011) 241-2106 (代表) FAX (011) 241-6110
仙台支店	〒984-0015 仙台市若林区卸町2丁目10番1号 TEL (022) 235-6878 (代表) FAX (022) 236-1573
富山支店	〒930-0019 富山市弥生町1丁目10番11号 TEL (076) 441-2866 (代表) FAX (076) 431-5839

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店

### 単元未満株式買取請求及び買増請求

単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記株主名簿管理人において受付けております。なお、買増請求につきましては3月31日及び9月30日のそれぞれ12営業日前から当該日までの期間お取り扱いを停止いたします。その他、会社が定める一定期間買増請求のお取り扱いを停止する場合がございます。

### 株券喪失登録

株券を喪失された方は、上記株主名簿管理人において株券喪失登録の手続きを行うことができます。株券喪失登録を行いますと、株券喪失登録簿に喪失株券の記号番号等が登録されて閲覧に供され、1年間登録異議もしくは喪失登録の抹消がなければ、当該株券は失効し、新しい株券の交付を受けることができます。

## 当社WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや取り扱い商品の紹介等、当社をご理解いただくための様々な情報、また紙に関する豆知識などをご提供しています。是非ご覧ください。



<https://www.sppcl.co.jp>

新生紙パルプ商事

検索



## 新生紙パルプ商事株式会社

東京都千代田区神田錦町1丁目8番地

TEL : 03-3259-5080 FAX : 03-3233-0991



この冊子は環境保全のため、植物油インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。